



地域福祉の支援に貢献 民生委員・児童委員感謝状伝達式

2月16日(月)、民生委員・児童委員感謝状伝達式が開かれ、新立サダ子さん(大泊)・浦口勝也さん(浜崎)・柳迫真紀さん(丸岡)に感謝状が贈られました。新立さんと浦口さんは9年間、柳迫さんは3年間委員を務められ、相談援助や高齢者・児童の見守り活動を実施。行政と住民の「つなぎ役」として地域福祉や子育て支援の向上に貢献いただきました。



↑感謝状を受け取った柳迫さん(左)と新立さん(右)



↓力込めて大根の水気を抜く生徒たち

ふるさとの味を学ぶ 津奈木中学校寒漬け大根味付け体験

2月13日(金)、津奈木中学校1年生が栽培した寒漬け大根の味付けをしました。完成した寒漬け大根は水俣・芦北地域の小売店で3月3日(火)に生徒たち自らが販売する予定。売り上げの一部は能登半島地震の被災地に寄付されます。パッケージには生徒たちが描いた被災者を応援するメッセージが入ったラベルが貼られています。

サラダ玉ねぎの魅力为全国へ アグリビジネスチャレンジ事業

2月6日(金)、株式会社食文化の井上真一さんを講師に小学5年生がマーケティング(市場戦略)を学びました。この事業は生産から販売までの仕組みやおもしろさを知ってもらうために令和3年から始まったもの。授業では、同社ECサイトで販売している全国各地の農産物などをクイズを交えて紹介。井上さんは「ネット通販の強みを考えながら、サラダ玉ねぎの魅力をより多く発見し、全国に発信してもらいたい」と話していました。今後の授業では、児童たちが考えたキャッチフレーズや写真を選び、サラダ玉ねぎを実際に販売するウェブページが完成します。

昨年12月の苗植えから大切に育ててきたサラダ玉ねぎはことし5月に収穫予定。地域おこし協力隊の木下裕介さんの協力のもと、出荷される箱には小学1・2年生によってサラダ玉ねぎの絵が描かれています。町の魅力と児童たちの思いが詰まったサラダ玉ねぎはことしも全国の購入者のもとへ届けられる予定です。



↓ネット通販の特徴について話す井上さん



↑段ボールに一生懸命に絵を描く児童

↑児童たちに玉ねぎの描き方をアドバイスする木下さん

津奈木町の情報発信

津奈木町ホームページ



ふるさと納税、観光、福祉、防災情報など皆さんに必要な行政情報を掲載しています。



つなぎぐらし(津奈木町移住定住サイト)



町への移住・定住を考えている人に向けた観光・産業や支援制度、空き家情報などを紹介。



有線放送情報



最新の放送内容を町ホームページで確認できます。
※放送日から1週間公開。



津奈木町公式LINE



津奈木町のイベント情報や防災情報を発信しています。



津奈木町公式Instagram



津奈木の見どころ、イベント、景色などインスタ映えするものを紹介。



津奈木町公式フェイスブック



イベントや旬な情報などタイムリーなニュースを紹介。



つなぎ、みなぎ、美風(津奈木町観光サイト)



食・自然・アートなど津奈木の魅力を紹介。



つなぎ美術館ホームページ



町内の作品や最新の展覧会情報などを紹介。



楽しい絵本を読み聞かせ 町民講座「絵本教室」

2月13日(金)、津奈木保育園で町民講座「絵本教室」の参加者たちによるおはなし会が開かれました。町民講座は町民に充実した生活をおくってもらうために、生涯学習活動として実施しています。5人の参加者は園児たちに絵本や紙芝居の読み聞かせをしました。園児たちは絵本の物語に夢中で聞き入っていました。



↑園児に読み聞かせをする参加者

↓会場は子どもから高齢者まで多くの人でにぎわいました



家庭の味、大集合 つなぎの家庭料理大集合

つなぎの家庭料理大集合が2月11日(水)、農業就業改善センターで開かれました。家庭料理を持ち寄り、地域の絆を深める本イベントは町内外から約90人が参加。えび飯や鶏飯、寒漬け大根、甘夏まんじゅうや柑橘のマーマレードなど地域の食材を使った料理が並びました。参加者たちは持ち寄られた料理をおいしそうに頬張っていました。